

KAWASAKI ART NEWS

2017.3

Vol.249



THE KAWASAKI FOUNDATION

※バレエ※
ドラゴンクエスト

全2幕

あの感動を再び！

「バレエ」が生み出す

「ドラゴンクエスト」

この春、



CONTENTS[目次]

04 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

07 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

10 美術

市内ギャラリー情報

13 演劇

アルテリオ小劇場

14 映画

アルテリオ映像館



ArtE Ricca しんゆり
川崎・しんゆり芸術祭2017
アルテリッカ

この春、「ドラゴンクエスト」×「バレエ」が生み出すあの感動を再び！

インタビュー：小山 久美さん(スターダンサーズ・バレエ団総監督)

古典から現代作品まで幅広いレパートリーを誇り、国内外で行う公演のほかバレエの普及活動にも意欲的に取り組むスターダンサーズ・バレエ団。

4月22日から5月14日に開催される川崎市北部の総合芸術祭「川崎・しんゆり芸術祭2017(アルテリッカしんゆり)」で、バレエ「ドラゴンクエスト」を上演します。

人気ゲームソフトの楽曲に基づくこの作品は、同団のオリジナルで1995年の初演以来、国内外で上演が重ねられてきました。ゲームの世界さながらの臨場感と、壮大なメロディーとともに繰り広げられるファンタジックな冒険物語は、バレエ界で一大旋風を巻き起こしました。

同団の総監督をつとめる小山久美さんに、公演へ向けての意気込みと、バレエの魅力について語っていただきました。

日本のバレエを世界に

—— スターダンサーズ・バレエ団についてお聞かせください。

スターダンサーズ・バレエ団は1965年に、私の叔母である太刀川瑠璃子が創設しました。それまで白鳥や妖精、お姫様などを踊ることしか知らなかった叔母が、20世紀に活躍したアントニー・チャーダーという振付家による、生の人間を描いた作品に出合って大きな衝撃を受け、「どうしても彼の作品を日本に紹介したい」と、自分の周りの各バレエ団のスターダンサーたちに声をかけて特別公演を行ったのが創設のきっかけです。

その時、チャーダーさんは「バレエには言葉の障壁がないから、将来、日本が世界と肩を並べてこの芸術を楽しめる日が来るように、自分の作品をいくらかでも提供する」という言葉を贈って下さいました。これを受けて「日本で作った作品を世界に発信する」という目標を掲げながら、日本人振付家による創作バレエを発表し続けるとともに、古典作品の上演はもちろん、海外の優れた作品を紹介してきました。

バレエをより身近に

—— アルテリッカしんゆりという地域の総合芸術祭に参加する意義について、どのようにお考えですか？

50年前の創立以来、バレエという文化を日本に定着させようと試みてきましたが、まだまだ一般になじみのある芸術として浸透していないのが現状だと思います。

舞台上で良い作品を作るということだけでなく、地域に根付き、バレエを身近に感じてもらえる芸術の一つとして、社会と結びつけて考えていかなければと思うようになりました。

日本のバレエという大きな括りで考えた時に、「日本から発信したい」という本来のポリシーは変わりませんが、社会の人たちのバレエへのファーストステップとなるようなところに目を向けてもいいのではないかなと思うようになったのは、アルテリッカしんゆりに参加するようになってからです。

地元の方と密着な関係を築きながら、文化をもっと身近に、皆で一緒に気軽に楽しもうという気持ちで成り立っているこの芸術祭がきっかけで、気づかせてもらったと思っています。

—— 古典の作品を短くリメイクし、解説をつけて上演されたこともありますね。そういったところも、初めて観る方を意識しているのでしょうか？

バレエを敬遠する理由は「長い、分からない、退屈する」など色々あると思いますが、そのハードルを解消したいと、とにかく分かりやすさを追求し、作品を凝縮して一幕45分にリメイクして上演しました。お子さまたちにも観てもらいたいので、彼らの集中力が続くように、学校の授業一コマ分の時間を目安にしています。

作品を凝縮して上演することは、実はとても大変です。短い時間で幕を転換し、普通は休憩を挟んで装置を変えるところを全て休憩なしで行い、ダンサーたちも短時間で早着替えをしなければなりません。色々な面で、やる側にとってはハードルが高いのですが、おかげ様で好評をいただけたので目的に少し近づくことができたかなと思っています。

バレエに今まで馴染みのなかった方にも観に来ていただき、エンターテインメントやレクリエーションといった日々の生活を彩る楽しみの一つとして、特別なものではなく、色々なその他の芸術と一緒に皆様に受けとめていただければと思います。

バレエ「ドラゴンクエスト」誕生秘話

—— バレエ「ドラゴンクエスト」はどのようにして生まれたのでしょうか？

企画をした佐野光司さんという方が、「ドラゴンクエスト」の音楽会を聞いて、これはバレエが作れると思い、作曲者のすぎやまこういちさんに提案し、私たちのところを訪ねて下さいました。そのとき一緒に話を聞いた当団で振付をしている鈴木稔が、ゲームのドラゴンクエストが大好きでして(笑)。

これはやりたいと飛びつき、2年の歳月をかけて完成させました。

やはり初演時のインパクトは大きかったですね。当時、「進め!電波少年」というアポなしで訪問するテレビ番組があって、大きなスライムを頭にかぶった松村邦洋さんが突然、舞台稽古の最中に「この僕が舞台と一緒に出ていいですか」と訪ねて来たことがありました(笑)。この時に、やっぱり「ドラゴンクエスト」ってすごいなと思った記憶があります。お客様の中にゲームのコスチュームでいらっしゃる方がたくさんいたのも印象的でした。ご覧になった方々の心に、何かを残せているという手ごたえは自分なりに感じています。

「ドラゴンクエスト」という作品は、ある意味「ジゼル」のような古典作品よりも、何か可能性を持っているのかもしれないと思います。同じように大きな可能性をもったアルテリッカしんゆりで、いつかこの作品を上演したいとずっと思っていたので、やっと実現できるという想いもありますね。

世界に認められる作品を

——この作品の見どころについてお聞かせください。

今回上演する「ドラゴンクエスト」は、装置と衣装、美術関係を全て一新しますが、背景には壮大な計画があります。

私たちは、世界の作品を日本で紹介するだけでなく、その逆もやりたい。それが最終的な究極の目標です。日本のゲーム文化が海外でクールジャパンの一つとして捉えられている中で、バレエ「ドラゴンクエスト」を輸出したいと思った時、これまでの舞台美術は初演から20年経って古くなったことと、上演当時の予算の限界があったこともあり、私の目には少し弱く映りました。世界レベルとして認められるところまで水準を上げたいと考え、海外のデザイナーに頼み、今回新しいバージョンで初公開します。

劇場という空間を使った視覚による部分は、バレエという総合芸術の大きな一角を占めます。まずはそこを味わっていただきたいですね。そして、すぎやまこういちさんの壮大な音楽は誰の胸も高鳴ります。最後に、一番メインとなるダンサーたちの踊り。この大きな三つに支えられたバレエの世界を楽しんでいただきたいですね。

ストーリーも仲間と一緒に頑張って善が悪を倒すという、単純に心がスカッとする物語なので、文句なしに楽しんでいただけるのではないかと思います。

想像力で楽しむ世界

——この作品をどういう方たちに観てほしいですか？

特に、お父さんたちに見ていただきたいと思っています。お子さんをバレエに連れて行くのはお母さんの役目と言わず、ぜひ一緒に見て楽しんでいただきたいですね。

「バレエを見に行く」というよりも、一つのエンターテインメントとして気軽に来いただき、純粋に動きやジャンプが凄いなとか、人間の身体が綺麗だなとか、肉体の生み出すパワーを楽しんでいただきたいと思います。

言葉がないということは、感じ方が自由なぶん、楽しめる要素でもあると思います。

自分の想像力で楽しむ世界は、わくわくするということを味わっていただきたいと思いますし、特に子供たちにその世界に触れてもらいたいですね。お子さんを連れていらっしゃる大人の方にも、普段、理屈や言葉で仕事や生活のほとんどが回っているなかでの息抜きになってもらえば嬉しいです。

バレエが持つ可能性

——今後、スターダンサーズ・バレエ団をどのようにしていきたいですか？

数年前から、バレエのファーストステップになるような活動に力を入れています。団員が全国の小学校を訪れて行うワークショップのほかに、更にそれを深く掘り下げるかたちで、昨

年から障害をもつ方のための活動を始めました。

麻生区にある養護学校の校長先生にご協力いただき、新百合ヶ丘近郊の学校の生徒さんを対象にバレエのレッスンを文化庁の事業の一つとして行っています。

昨年のアルテリッカで新作初演した「迷子の青虫さん」という作品は、障害を持つ方や特別支援学校の方と一緒に何かできるかもしれないと、体育館に置くだけで使える大道具を柔らかい素材だけで作りました。この作品は麻生区の養護学校の生徒さんたちに見てもらい、保護者の方から「理屈で理解する作品でないで自閉症の子どもにとっても良かった」と言っていました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、こういった活動も続けていきたいと思っています。

バレエは、最低でも10年かかると言われるテクニックを必要としますので、学校ではそれを教えるのではなく、身体表現に焦点を当てています。人間は言葉を使いますが、実は言葉の裏側が大切ですね。言葉なしで身体だけで何かを伝えようと思ったら、相手をよく見ないと出来ません。また、純粋に身体を動かすことが楽しいと思う気持ちも、人と人とが手を携えて生きていく上で必要なことなのではないかなと思います。

そして最後に、日本のバレエ、文化の継承・発展ということを見ると、絶対に観客の方の力が必要です。ですから、今後も多くの方に観ていただけるような活動を続けていきたいと思っています。

公演情報

Information

2017年スターダンサーズ・バレエ団 5月公演

バレエ「ドラゴンクエスト」全2幕

5月13日(土)・14日(日) 14:00開演

会場：昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ

(小田急新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

[音楽]すぎやまこういち [演出・振付]鈴木 稔

[舞台美術・衣装]ディック・バード

[総監督]小山久美

[主 演]白の勇者：加藤大和、黒の勇者：吉瀬智弘、
王女：林ゆりえ(13日)／渡辺恭子(14日)

[指 揮]田中良和

[管弦楽]テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ

チケット／全席指定

一 般 S席9,500円 A席6,500円 B席3,500円

子ども S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円

(※子どもは4歳～中学生対象)

プロフィール

Profile

小山 久美[Kumi Oyama]

慶応義塾大学文学部哲学科卒業。

1979年スターダンサーズ・バレエ団入団。

1984年North Carolina School of the Arts に留学。

その後、文化庁在外研修員としてアメリカにてメリッサ・ヘイドンに師事。

翌年より、フロリダのタンパ・バレエ団に参加し、ソリストなどをつとめる。帰国後は、ピーター・ライト版「ジゼル」「くるみ割り人形」などの作品で主演を演じる。

1992年村松賞受賞。

2003年スターダンサーズ・バレエ団代表、総監督に就任。

2008年昭和音楽大学短期大学部教授。



川崎・しんゆり芸術祭2017 アルテリッカしんゆり
4/22(土)～5/14(日)
ジャンルを超えた30演目37公演

アルテリッカ

検索

ミュージア川崎シンフォニーホールのおすすめ公演

お申込み・お問合せ◎ミュージア川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200(10:00~18:00)



音楽大学フェスティバル・オーケストラ(2016年3月25日)

音楽界の明日を担う人材を輩出する 音楽大学フェスティバル・オーケストラに注目!

首都圏の音楽大学の協力と交流を目的に始まった「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」。その発展形として、各大学の選抜メンバーで編成される「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」の演奏会が、今年もミュージア川崎シンフォニーホールと東京芸術劇場(池袋)で開催されます。

今年で第6回を数えるこの演奏会は、大編成のオーケストラによる活気に満ちた演奏で毎年好評を博しています。そこで今月は、音楽大学フェスティバル・オーケストラがどのように誕生し、毎年どのように演奏会を作っていくのかをご紹介します。

(写真はすべて2016年音楽大学フェスティバル・オーケストラの活動風景)

「学生オーケストラの祭典」が誕生

「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」の前身は、東京文化会館(上野)で、1999年11月に開催された「学生オーケストラの祭典 ~音楽大学8校の夢のコンサート」です。参加大学は東京音楽大学、国立音楽大学、東京藝術大学、桐朋学園大学、洗足学園大学(当時)、武蔵野音楽大学、上野音楽大学、昭和音楽大学で、1日2大学のオーケストラが出演して4日間開催されました。このイベントを企画立案した作曲家で、当時、東京文化会館館長を務めていた故・三善晃さんは、「音楽大学8校の若い学生オーケストラを、四夜に亘り会館に迎えました。「新しさ」は「新しい人々」によって創造される、東京文化会館の祈りです」とあいさつ文に記しました。

「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」へリニューアル

2003年に「学生オーケストラの祭典」はいったん休止になりますが、その再開を望む声が多くありました。「音楽大学でのオーケストラ研修を充実させることが日本の音楽文化の維持・発展に寄与する」との考えから、2009年、ミュージア川崎シンフォニーホールと東京芸術劇場(池袋)の共同企画によって、「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」と改題されて復活しました。以来、東日本大震災があった2011年を除き、毎年回を重ねてきました。



尾高マエストロの話を聞く表情は真剣そのもの。初めての全体練習では会場に緊張感が張り詰まりました。

そしてついに2012年3月、首都圏8音楽大学のオーケストラから選抜された精鋭が一堂に会し、「第1回フェスティバル・オーケストラ」の演奏会が実現し、今に至っています。

メンバー選抜にドラフト制度を導入!?

毎回、公演の1年前には指揮者とプログラムが発表され、その曲を演奏するための楽器編成が決まります。一人でも多くの学生に演奏してもらいたいの、プログラムは自ずと大編成オーケストラによる難曲が多く選ばれてきました。

そしていよいよ選抜です。出演人数の多い弦楽器はそれぞれの大学に人数が均等に割り振られます。一方、出演人数の少ない管楽器、打楽器などはプロ野球の新人選手選択会議のように、ドラフト(くじ引き)によって演奏者が決められていきます。いずれにしても選ばれたメンバー



上:チェロセクションだけの自主練習。同じパート同士が仲良くなって、オーケストラ解散後もアンサンブルで活動する例が珍しくないのだとか。

下:春休みの武蔵野音楽大学の学食を特別に開けてもらってみんなでランチ。同じ釜のメンを食べた者同士の絆は強い!



ミューザ川崎シンフォニーホール公演当日の全体練習。終了後の記念撮影では学生らしい若さが弾けます！



ミューザ川崎シンフォニーホールのステージ裏で舞台スタッフがミーティング。プロの指導のもと舞台スタッフもライブラリアン(楽譜収集・管理者)も学生が担当します。



3月26日の最終日、東京芸術劇場でのレセプションにて。指揮と指導でお世話になった尾高忠明マエストロと記念撮影。でも、目前に迫った別れに心の中は寂しさでいっぱい？



2016年3月25日、ミューザ川崎シンフォニーホール公演からの1枚。大編成オーケストラの迫力ある音が今にも聴こえてきそうです。

はそれぞれの大学を代表するプレイヤーばかり。それでも約半年後の本番に向け、自身のプライドと大学の威信をかけて個人練習に精を出すことは言うまでもありません。

醍醐味は合同で行う集中リハーサル

本番の1週間前、ついにメンバー全員が顔をそろえます。昨年は武蔵野音楽大学に土曜日から4日間集まって練習し、一日休んだ木曜日にミューザで前日練習を行い、週末の本番を迎えました。実はこの一週間こそが音楽大学フェスティバル・オーケストラの醍醐味。在籍する大学の垣根を超え、音楽家としての理想を抱えた者同士が共感

し、切磋琢磨し、刺激し合うことは何物にも替え難い貴重な経験になるのです。

実際、プロ・オーケストラへの入団者が生まれるなど、将来の音楽界を担うであろう若きプレイヤーをこのオーケストラは輩出しています。

大規模編成で挑むマーラーの「第6交響曲」

これまで「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」を指揮してきたのは外山雄三、秋山和慶、ラドミル・エリシュカ、ユベール・スダーン、尾高忠明といった指揮者としてはもちろん、指導者としても超一流の方ばかり。今年は難解な楽曲の

解釈と演奏に評価の高い高関健氏を指揮に迎え、ドビュッシーの「海」と、それぞれの大学だけでは演奏できない大編成の作品、マーラーの「交響曲第6番」に挑みます。

さらに今回は、熊本地震(2016年4月)で被災した九州地区の音楽大学から学生を招き、交流と復興支援を図ることも開催目的の一つになりました。

クラシックを愛する人もそうでない人も、音楽大学フェスティバル・オーケストラを聴きにぜひミューザ川崎シンフォニーホールにお出かけください。そこでは高き志を抱いた若き音楽家たちの本気の演奏を聴くことができます。

第6回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

今年は首都圏9音楽大学と
九州2音楽大学の選抜オーケストラ公演！

3月25日(土) 15:00開演(14:30開場)

会場／ミューザ川崎シンフォニーホール
S席2,000円 A席1,500円

3月26日(日)

15:00開演(14:00ロビー開場)

会場／東京芸術劇場 コンサートホール
(池袋)
S席2,000円 A席1,500円



(指揮)高関 健

出演

指揮：高関 健

管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ

(上野学園大学+国立音楽大学+昭和音楽大学+
洗足学園音楽大学+東京音楽大学+東京藝術大学+
東邦音楽大学+桐朋学園大学+武蔵野音楽大学+
平成音楽大学(熊本)+
大分県立芸術文化短期大学(大分)の選抜メンバー)

プログラム

ドビュッシー：交響詩「海」

マーラー：交響曲第6番 イ短調「悲劇的」

ホールアドバイザー秋山和慶&佐山雅弘企画 オーケストラで楽しむ映画音楽Ⅶ

4月8日(土) 15:00開演(14:00開場) 14:20～プレトーク

S席7,000円(僅少) A席6,000円(僅少) B席5,000円 C席4,000円

好評シリーズ第8弾！ジャンルを超えた名作の音楽をフル・オーケストラで！
今年は新たにテレビシリーズも登場します！



〈指揮〉秋山和慶



〈ピアノ〉佐山雅弘
©Hozumi Nakadaira



〈ギター〉鈴木大介(ゲスト)



〈ナビゲーター〉中井美穂
©小池哲夫

出演

指揮：秋山和慶 ピアノ：佐山雅弘

バレエ：谷桃子バレエ団 安村圭太 ほか ギター：鈴木大介(ゲスト)

ナビゲーター：中井美穂 管弦楽：東京交響楽団

プログラム

哀愁のヨーロッパ映画特集 『シェルブールの雨傘』『禁じられた遊び』 ほか
オーケストラとダンスの素敵な関係 『眠りの森の美女』よりワルツ、ラヴェル：ボレロ ほか
なつかしのテレビシリーズ 『奥さまは魔女』『刑事コロンボ』『ルート66』 ほか
不朽の傑作ミュージカル映画 バーンスタイン：『ウェスト・サイド物語』

2017年
3月

ミューザ川崎シンフォニーホール
コンサートカレンダー
CONCERT CALENDAR

「3月の催し」

*チケット料金、残席情報等は各公演の
お問い合わせ先までお尋ねください。

1 水
14:00

フォレストコンサート in 川崎

男声: 澤田薫、榛葉樹人、横山慎吾、塩入功司、今井俊輔、大野隆 女声: 内海万里子、上沼純子、中安千晶、小笠原優子、吉田静
ピアノ: 南雲彩、吉野翠、山元佳那子 司会: 石川牧子

お問合せ: パインオリジン 044-989-8548

4 土
13:30

ミューザ川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2017前期

「小菅優の“現在”を聴く」小菅優ピアノ・リサイタル

ピアノ: 小菅優
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第14番「月光」/ 武満 徹: 雨の樹素描Ⅱ 一オリヴィエ・メシアン: 追憶にー / リスト: エステ荘の噴水 他

お問合せ: 神奈川芸術協会
045-453-5080

5 日
14:00

ニューシティオーケストラ 第70回 記念定期演奏会

指揮: 小久保大輔 合唱: 法政大学アカデミー合唱団
ヴェルディ: 歌劇『アイダ』より「凱旋行進曲」/ ブラームス: ハイドンの主題による変奏曲 / ベルリオーズ: 幻想交響曲

お問合せ: 演奏会広報担当
050-5873-0546

主催公演
11 土
14:30

第4回 被災地復興支援 チャリティ・コンサート

指揮: 秋山和慶 管弦楽: 東京交響楽団 司会: 山田美也子
武満 徹: 弦楽のためのレクイエム / グリーグ: ベール・ギェント組曲第1番、第2番より / ドヴォルザーク: 交響曲第9番「新世界より」

※事前申込制《申し込みは締め切りました》

12 日
14:00

東芝グランドコンサート2017

NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

指揮: クシシュトフ・ウルバンスキ ピアノ: アリス=紗良・オット
ベートーヴェン: 序曲「レオノーレ」第3番 ハ長調 Op.72b / ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37 / R.シュトラウス: 交響詩「ツァラトゥストラはかく語りき」 Op.30

お問合せ: クラシック事務局 0570-012-666

18 土
14:00

東京交響楽団 川崎定期演奏会 第59回

指揮: 飯森範親
レスピーギ: 交響詩「ローマの噴水」/ レスピーギ: 交響詩「ローマの松」/ レスピーギ: 交響詩「ローマの祭」

お問合せ: TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

19 日
13:30

マンドリンアンサンブル・アマービレ 第21回 定期演奏会

指揮: 岡本光生・黒野典栄 ギター: 中林奏太
B.バカラック: 雨にぬれても / F.レイ: 雨の訪問者一ワルツ / J.ガモー: 悲しき雨音 / ザ・ベンチャーズ: 雨の御堂筋 他

お問合せ: 045-575-6419 (岡本)

20 月・祝
14:00

東京アマデウス管弦楽団 第85回演奏会

指揮: 北原幸男
ニコライ: 「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲 / R.シュトラウス: 交響詩「死と変容」Op.24 / ブラームス: 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98

お問合せ: 事務局 090-4226-8012

主催公演
25 土
14:00

MUZA 音楽サロン「極める」第3回「世界の足元に革命を」

プレゼンター: 長谷川裕也(靴磨き職人) 演奏: 近藤千花子(東京交響楽団クラリネット奏者) ピアノ: 渚 智佳
ブリス: 牧歌 / ショーン: アンダンテとアレグロ / ロッシーニ: 序奏、主題と変奏 他

会場: ミューザ川崎シンフォニーホール
4階 市民交流室(限定120席)

★お茶とお菓子つき!

主催公演
25 土
15:00

第6回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

指揮: 高関 健 管弦楽: 音楽大学フェスティバル・オーケストラ(首都圏9音楽大学+九州2音楽大学選抜オーケストラ)
ドビュッシー: 交響詩「海」/ マラー: 交響曲第6番 イ短調「悲劇的」

主催公演
26 日
14:00

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第125回 自然豊かなフィンランドが生んだ作曲家ーオール・シベリウス・プログラムー

指揮: 大友直人 ヴァイオリン: チャン・ユジン
シベリウス: 交響詩「フィンランディア」/ シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47 / シベリウス: 交響曲 第7番 ハ長調 作品105

28 火
18:00

横浜市立樽町中学校吹奏楽部 第42回 定期演奏会

曲目: 未定

お問合せ: 横浜市立樽町中学校吹奏楽部
045-542-8776

主催公演
30 木
12:10

東燃ゼネラルグループ Presents/MUZAランチタイムコンサート

春休み打楽器まつり

打楽器: パーカッション・アンサンブル・グループ「クラール」
手のひらを太陽に〜「世界」のみんなが友達なんだ〜 他

春休み特別企画 ★4歳から入場できます!

主催公演
30 木
19:30

東燃ゼネラルグループ Presents/MUZAナイトコンサート60

今夜はパーカッションづくし!

打楽器: パーカッション・アンサンブル・グループ「クラール」
月の光 / パッパへの贈り物 他

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ: ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミューザ川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅西口直結





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



第4回 前座・二ツ目激励 「交流館 お昼の落語」

日時:3月15日(水)14時から15時半(開場13時半)

料金:無料 定員:先着80名(自由席)

会場:東海道かわさき宿交流館 4階集会室

出演:前座 三遊亭歌実

二ツ目 春風亭一左



三遊亭歌実



春風亭一左

街道シリーズ 12回 街道歩きをもっと楽しくするために 「サハリンの古街道と北方アイヌ部族」

日時:3月18日(土)14時から(開場13時半)

料金:無料 定員:先着80名(自由席)

会場:東海道かわさき宿交流館 4階集会室

講師:宮田太郎(歴史古街道研究家)



宮田太郎

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。

旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



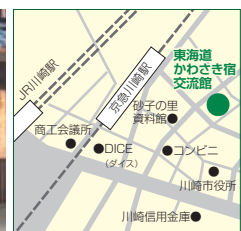
貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、
JR川崎駅東口より徒歩9分



子ども狂言教室開講式



日本の伝統文化である狂言を基礎から演じるまでを学ぶ『子ども狂言教室』の開講式を行いました。

この講座では、子どもたちが一流の講師陣の指導のもと、挨拶などの行儀作法から、立つ・正座・歩くといった動き、演目の稽古を全13回にわたって行い、最終日の発表会では川崎能楽堂の舞台上で狂言の代表的な作品「いろは」「しびり」などを演じます。

講師をつとめる大蔵流狂言方の山本則俊先生より、「狂言は650年前から絶えることなく続いてきました。人間の愚かしい姿を描いた対話劇で、全部で200番あります」とお話がありました。受講する小学校3年生から6年生までの子どもたち29名が元気な声で自己紹介をして、1月から始まる稽古への期待に胸を膨らませていました。(12月25日 新百合トウェンティワンホール)

MUZAランチタイムコンサート



ミューザで毎月開催しているワンコイン500円のランチタイムコンサート。1月は三原麻里さんのオルガン演奏を森本麻衣さんのピアノとともに楽しみいただきました。「ベルギー & フランスのオルガン音楽旅行」と題し、ベルギーの作曲家ジョンゲンを中心に、ジョンゲンが影響を受けたフランスの作曲家などを取り上げました。終演後にはアフタートークを行い、ホールオルガニストの近藤岳さんも加わってお客さんからの質問に答えるなど和やかな会になりました。

(1月12日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

第55回 ラゾーナ寄席

今年最初の新春寄席は、世話人である二人の師匠がそろい踏み。桂竹もさんによる『平林』で始まり、初音家左橋師

匠による『紙くず屋』。楽しい抽選会に続いて、鏡味正二郎さんによる太神楽。出刃包丁の上での皿回しや、あごの上に乗せた棒の上に茶碗を積み重ねていく五階茶碗、傘回しと、次々に飛び出す曲芸に満席の会場は大盛り上がり。トリは、桂米多朗師匠による『文七元結(ぶんしちもつと)』。博打好きの左官が見ず知らずの若者を助けるため、愛娘が身を売って工面した50両をあげてしまうが……という、江戸っ子の心意気に胸を打たれる人情噺で、新年のおめでたい雰囲気の花を添えました。

ラゾーナ寄席は毎月第3火曜日に開催。2017年もたくさんの笑いをお届けします。



(1月17日 ラゾーナ川崎プラザソル)

第3回 前座・ニツ目激励「お昼の落語」



今回で3回目になる、前座・ニツ目お昼の落語。天気も良かったので大勢の方がお越しくださいました。まず、1月の出し物として雰囲気ピッチナ「寿獅子舞」からスタート。縁起がいいですね。舞っていたのは、ニツ目の初音家左吉さんでした。お次は、前座の金原亭駒六さんの「道具屋」。与太郎のアホっぽさが可愛くて良い。続いて左吉さん。本題に入る前に、いくつか古典的な小話をして笑いを取っていました。落語は「子ほめ」。真似して失敗するという、これもよくある落語の一つ。休憩をはさみ、再び左吉さん登場。今度は新作落語の「ぼやき酒屋」とある酒屋の主人と、その店にきた男の客とのやりとり。飲兵衛話ですね。ダジャレのオンパレードで面白かったです。未来の真打に会場のみなさんも大いに期待しているとのことです。

次回は、3月15日(水)14時から行います。お楽しみに。

(1月18日 東海道かわさき宿交流館)

しんゆりジャズスクエア vol.27 JAZZ×Hawaiian



伊地知正憲

吉野廣蔵

日下貴博

日本におけるハワイアンブームの火付け役として1950年代から活躍するスティールギター奏者の吉野廣蔵や日本ハワイアン音楽奏者の重鎮である伊地知正憲(ベース)、日本ハワイアン音楽協会の理事を務める日下貴博(ウクレレ、ボーカル)やフラダンサーほかを迎え、第一線のアーティストが集結し豪華な時間となった。「ブルーハワイ」、「月の夜は」、「カイマナヒラ」など寒い季節に懐かしいハワイアンの名曲をジャズにアレンジし、ジャズとハワイアンの融合をお楽しみ頂いた。

(1月27日 アルテリオ小劇場)

シェイクスピア「ハムレット」



ラゾーナ川崎プラザソルの開館10周年を記念した演劇公演。新進気鋭の若手俳優たちと、古典戯曲を得意とする演出家・西沢栄治さんが、シェイクスピアの四大悲劇「ハムレット」に挑みました。

中央にせり出した多角形の真っ赤な舞台、背景には白い布が垂れ下がるシンプルなセットで、目まぐるしく変わる場面が効果的に表現され、客席も巻き込んだ臨場感あふれる演出。若い役者たちの身体から振り絞られるような台詞と、スピード感のある全身全霊の演技は、緊張感とエネルギーに満ちていました。

「ただ悲しく辛い物語で終わらせたくない」という想いで挑んだ演出家と役者たち。舞台上の登場人物たちの悩みは、決して遠い昔の異国の話ではないのだと、訴えかけていたような気がしました。

(1月25日～2月1日 ラゾーナ川崎プラザソル)

小黑恵子童謡記念館

4月1日
リニューアル
オープン

川崎市出身の詩人で童謡作家の黒恵子氏が、自宅を改築して平成3年に開館しました。平成26年に黒氏が亡くなったのち川崎市に遺贈されました。

このたび、童謡文化体験と地域の憩い、交流の場としてリニューアルオープンし、展示のほか、貸館や貸ホールも行います。

入 館 料(予定)●大人200円、小学生以上18歳以下100円
[年間パスポート]大人1,000円、
小学生以上18歳以下500円

開館日・時間(予定)●土・日・月・祝日 10:00~17:00
※4月1日(土)は、13時から開館
4月4日(火)~7日(金)、オープン記念週間に開館
※4月1日、2日の入館料は無料
※閉館日のホール使用については応相談



記念コンサート 第1部

日時:4月1日(土) 13時半~16時(開場13時) 定員:80名(当日先着)
料金:無料 内容:声楽アンサンブル、楽器、合唱、ジャズ、朗読
出演:開館記念声楽アンサンブル
(秋山徹[テノール]、さつき[ソプラノ]、境信博[バリトン]、笹子まさえ[アルト])、
琴伝流大正琴 カトレアグループ、川崎めぐみ幼稚園コーラス プリムローズ、
秋山雅子(朗読)、溝の口ジャズユニット(和田忠也[ピアノ]、野村晃介[ベース])

記念コンサート 第2部

日時:4月2日(日) 13時半~16時(開場13時) 定員:80名(当日先着)
料金:無料 内容:川崎市内のグループによるコンサート

所在地●川崎市高津区諏訪3-13-8 電話044-767-9646(4月1日から)

アクセス●二子新地駅より徒歩10分、高津駅より徒歩11分 川崎市営バス・東急バス 北見方バス停より徒歩3分

※徒歩又は公共交通機関でご来館ください。※ご来館の際は、市ホームページで開館日・開館時間をご確認ください。

3月までのお問い合わせ先●川崎市市民文化局市民文化振興室 電話044-200-2029

川崎市スポーツ・文化総合センターの 愛称を募集します

募集期間 平成29年3月1日(水)~3月31日(金)

川崎市富士見地区に

「スポーツ」×「文化」の総合拠点が誕生します
川崎市スポーツ・文化総合センター

平成29年10月1日オープン!!



応募方法

- ①市のホームページ、ハガキ(1枚につき3点まで)、応募用紙(各区役所、市民館、図書館等に設置)を郵送、FAXまたは持参により応募してください。
- ②施設の愛称(よみがな)、愛称の説明、住所・氏名(ふりがな)・年齢・職業(学校名・学年)・電話番号を必ず記載してください。

応募先

【川崎市のホームページから応募する場合】

市HP <http://www.city.kawasaki.jp>から

スポーツ・文化総合センター

検索

【郵送、FAXまたは持参で応募する場合】

川崎市市民文化局 市民生活部企画課 スポーツ・文化総合センター「愛称募集」係

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル9階 電話 044-200-3758/FAX 044-200-3707

※施設の概要など、詳しくはホームページをご覧ください。愛称募集に関するページへは、右記QRコードから直接アクセスできます。



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

2017.3

2017.3		1 Wed	2 Thu	3 Fri	4 Sat	5 Sun	6 Mon	7 Tue	8 Wed	9 Thu	10 Fri	11 Sat	12 Sun	13 Mon	14 Tue	15 Wed	16 Thu	17 Fri	18 Sat	19 Sun	20 Mon	21 Tue	22 Wed	23 Thu	24 Fri	25 Sat	26 Sun	27 Mon	28 Tue	29 Wed	30 Thu	31 Fri
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																															群炎美術協会 神奈川支部展 3月28日(火)～4月2日(日)
	第2展示室	東京ガラス工芸研究所 卒業・終了制作展 ～3月5日(日)						虹の会展 3月7日(火)～12日(日)						第36回 白亜会 神奈川支部展 3月14日(火)～19日(日)							大室湛幽書展 3月22日(水)～26日(日)						一線美術会 神奈川支部展 3月28日(火)～4月2日(日)					
	第3展示室																															
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																									県立川崎高校写真部 写真の展示会 3月24日(金)～27日(月)							
ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室 (幸区) 幸区大宮町1310 TEL. 520-0300 【休館日】3/27(月)									紙彩画十二ひと絵教室 15周年発表会 3月8日(水)～12日(日)																							
カフェマイム マイギャラリー(幸区) 幸区堀川町66-20 川崎市産業振興会館2F TEL. 548-4132 【休館日】日・月・祝																										帯で作るバックの会 3月22日(水)～25日(土)						
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)				ペブル 仁平先生と仲間たち 3月3日(金)～8日(水)						花友舞 三人展 3月10日(金)～15日(水)						グレースエッグ エッグアート展 3月17日(金)～22日(水) ※21日休館						第27回木曜会作品展 3月24日(金)～29日(水)										
ギャラリー柯(えだ)(中原区) 中原区木月3-35-1 元住吉アートフラッツ1F TEL. 422-0515 【休館日】第2・第4月曜日				アトリエ5 作品展【2017】 絵画(油絵・日本画・色鉛筆画・デッ サンなど) ※同期間・川崎市国際交流センターにて、子供クラスの作品展示を行っています。 3月3日(金)～5日(日)																												
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		川崎 スケッチ会展 ～3月1日(水)	さくら会展 3月3日(金)～8日(水)						山岳写真 集団「檜」 3月10日(金)～15日(水)						ちぎり絵展 3月17日(金)～22日(水) ※21日休館						木陽会 絵画展 3月24日(金)～29日(水)						ハンドメイド 大好き展 3月31日(金)～4月5日(水)					
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		宮前 パステル会展 ～3月1日(水)	宮前区役所危機管理担当 防災フェア 3月4日(土)						生涯学習 交流集会 3月10日(金)～15日(水)						アトリエりょうま 器を造る仲間展 3月17日(金)～22日(水) ※21日休館						宮前平駅前スペースここわ 作品展 3月24日(金)～29日(水)						アトリエどんぐり 作品展2017 3月31日(金)～4月5日(水)					
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)				水彩画展示会 中野島いこいの家 彩遊会 3月3日(金)～8日(水)						たま学び のフェア ギャラリー「たまゆら」 3月10日(金)～15日(水)						稲田堤写友会写真展 3月17日(金)～22日(水) ※21日休館						ゆりの会 色鉛筆画展 3月24日(金)～29日(水)										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(20日を除く)、3/21(火)、3/22(水)		企画展	有料 企画展「第20回岡本太郎現 代芸術賞」展 ～4月9日(日) 観覧料：一般700円、高・大学生・65歳 以上500円、中学生以下無料																													
		常設展	有料 常設展「みんなが見たい! 太 郎セレクション 2017」展 ～4月9日(日) 観覧料：一般700円、高・大学生・65歳 以上500円、中学生以下無料																													
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		アトリエー絵 (油絵・水彩画) ～3月1日(水)	墨華会 水墨画作品展 3月3日(金)～8日(水)						木版画あさ お作品展 3月10日(金)～15日(水)						アトリエ・マド展 3月17日(金)～22日(水) ※21日休館						麻生区デッサン会展 3月24日(金)～29日(水)											

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

工事休館のお知らせ 1月16日(月)～3月31日(金)

施設設備の老朽化対策として昇降機設備の改修工事のため

休館中開催の講座(事前申込制)

ミュージアム講座

市民ミュージアムの研究分野、収蔵資料などについて、分かりやすく皆さんにお話しする講座です。

3月5日(日)

「ビゴー『トバエ』の全体像」

- 講 師:清水勲(漫画・諷刺画研究家)
- 時 間:14:00～15:30
- 会 場:かわさき市民活動センター会議室A・B
(JR・東急「武蔵小杉駅」徒歩3分)
- 定 員:30名(先着順)
- 参加費:無料

講 座 の 申 込 方 法

いずれかの方法で、市民ミュージアム宛にお申込みください。

- ホームページ:<http://www.kawasaki-museum.jp>
※トップページよりイベント → イベント詳細 → お申込みフォームより
- FAX:044-754-4533
- 往復はがき
〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2
- ①住所、②氏名、③電話番号、FAX番号(FAXでお申込みの場合)、④参加を希望する講座・イベント名、⑤参加希望日を明記。
お問合せ:TEL 044-754-4500

企画展開催予告

日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展

～あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた～

- 会 期:2017年4月22日(土)～6月25日(日)
- 会 場:企画展示室1
- 観覧料:一般600円、65歳以上・高校生・大学生500円、
中学生以下無料



アンデルセン制作の切り絵

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、清の口駅ノキ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休 館 日】～3/31(金)まで工事休館
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

● ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展／開催中～2017年4月9日(日)

「みんなが見たい！ 太郎セレクション 2017」展

アンケートにより選ばれた、岡本太郎の
人気作品・代表的作品を一挙に展示しま
す。話題のあの作品や隠れた人気作品な
ど、どうぞお見逃しなく！



岡本太郎「森の怪」1950年

企画展／開催中～2017年4月9日(日)

「第20回岡本太郎現代芸術賞」展

今年で20回をむかえる本展を通し、美術のジャンル意識を超え、芸術の
新しい可能性を探る意欲的な作品を紹介いたします。

一般700(560)円、高校・大学生・65歳以上500(400)円です。中学生以下は無料です。
※()内は20名以上の団体料金
※企画展開催期間中は、企画展と常設展のセット料金です。

【関連イベント】第20回TARO賞ギャラリートーク

第20回TARO賞作家によるギャラリートークを行います。

開催日:◆3/12(日) ◆3/26(日) 開催時間:14:00～15:00

第20回TARO賞特別イベント

「URA TARO SHOW!! 劇団★死期が美術館をジャック!？」

〈オルタナティブ人形劇団「劇団★死期」
が、期間限定で岡本太郎美術館を乗っ
取っちゃう!〉というストーリーのもと様々な
イベントを行います。いつもと違った美術館
の楽しみかたを体験できるかも？
イベント期間:3月1日(水)～4月9日(日)



①音声ガイドをジャック!?

～美術館乗っ取りの第一歩!?! 地獄の学芸員の悪だくみを阻止せよ!～

可愛い人形たちの声と共に、オリジナルストーリーの世界を楽しみながら美
術館を巡りましょう。劇団★死期オリジナル音声ガイドを貸し出いたします。
日時:3月1日(水)～4月9日(日) 場所:常設・企画展示室
料金:300円(通常の音声ガイドも含まれます)

②ギャラリートัวร์をジャック!?! ～勝手に超現代美術編～

ガイドツアーはいただいた!アート探偵ゲンダイチコースセシリーズの人
形劇でギャラリートัวร์。専門用語多めのいつもと違った案内に、みなさん
ついて来れるかな!?

人形たちがライブ感溢れるギャラリートัวร์を行います。
日時:3月19日(日)、25日(土) 14:00～ 対象:全年齢
場所:常設・企画展示室 料金:観覧料のみ 申込不要

③TARO賞をジャック!?! ～URA TARO SHOW!! 開催だ!!～

3月1日より、お客様参加型の特設ブースが出現!そこでお客様からア
ート作品のアイデアを大募集。ここではみんながアーティストだ。名作、ボツ
、級、駄作、実現不可能、なんでもアリ。つくるのはたいへん、でも考えるだけ
なら出来そうだよ!アイデア用紙に書いて貼ってこう!

人形劇～URA TARO SHOW!!～のミニ公演と共に、みなさんから寄せ
られたアイデアを紹介するトークイベントも行います。
(トークショーゲスト:審査委員役として会田家)

日時:特設ブース3月1日(水)～4月9日(日)

イベント4月2日(日) 14:00～

対象:全年齢 場所:ギャラリースペース

料金:無料 申込不要(先着順)

美術集団・オルタナティブ人形劇団「劇団★死期」とは?

美術家の岡田裕子主宰、会田誠を顧問とした、人形劇をあまりやらない神出鬼没な人形劇団。
美術館での実験的人形劇から、交流型野外パフォーマンス、書籍出版、映画制作まで、変幻自在
にアートとその周辺の境界線をまたぎ、実験を重ねるパフォーマンス集団。2015年秋、劇団★死
期初の人形劇のノベライズである探偵小説「ゲンダイチコースケの事件簿」を刊行。2016年、初
の映画「NEW ENERGY CINEMA PARADISE」を制作した。

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館締切16:30)
【休 館 日】毎週月曜日(20日を除く)、3/21(火)、3/22(水)
<http://www.taromuseum.jp>

● ホームページ、
Facebookにて
情報発信中



ホームページ



Facebook



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
http://kawasaki-ac.jp/
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



しんゆりシアター 劇団わが町 第6回公演

恐れを知らぬ27人の劇作家?と49人の俳優たち

作・構成・演出 ふじたあさや／作 劇団わが町文芸部

みんなで書いた、わたしたちの《今》《今》を見つめる目が わたしたちの《明日》をつくる

今回はドイツの劇作家ブレヒトにならい、私たちの今を描く作品を創りあげます。戦後70年、福島原発事故から5年の、2016年の現実をみつめ、劇団員の日常や社会に対する思いを綴った小作品の脚本を劇団員それぞれが書きました。それらを一本にまとめあげ、上演します。

【日時】2017年3月10日(金)～12日(日) 【出演者】劇団わが町

	10(金)	11(土)	12(日)
13:00			●
14:00		●	
17:00			●
18:00		●	
19:00	●		

※開場は開演の30分前

客演：古館一也
原田 亮(company ma)

【チケット】一般 2,500円
学生(小学生～高校生) 1,000円
※全席指定・税込



前回公演「わが町満の口」(撮影：関口淳吉)



稽古風景

しんゆりジャズスクエアvol.28

クラシックの名曲をジャズアレンジで!

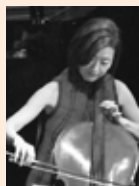
お馴染みの名曲をジャズのリズムに乗せてお楽しみ下さい。
〈予定曲〉禁じられた遊び／Time to say goodbye／ノクターン(ショパン)／春 四季より(ヴィヴァルディ)／
エリーゼのために…など

2017年3月24日(金) 19:00開演

※開場は開演の30分前

【出演者】平山織絵(チェロ)、三井大生(ヴァイオリン)、
佐瀬 正(ベース)、井上ゆかり(ピアノ)、
田辺充邦(ギター)

【チケット】3,500円(全席自由・税込)



平山織絵



三井大生



佐瀬 正



井上ゆかり



田辺充邦

★サポーターズチケット★

「しんゆりジャズスクエア」をもっと大勢の方に楽しんで頂きたいと、セット券をご用意しました! ご家族や、ご友人とご一緒にぜひお越しください!

●2枚セット券 6,000円 ●4枚セット券 10,000円

※WEBでのお取り扱いはありません。

第50回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2017年3月25日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】柳家小ゑん、初音家左橋、柳亭こみち、入船亭辰のこ

【チケット】一般 2,000円／学生 1,000円(全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人とご一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット:10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット:4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。※WEBでのお取り扱いはありません。



柳家小ゑん



初音家左橋

【お知らせ】終演後、演者との交流会を開催。ご希望の方は公演当日受付にてお申込。(飲食含む参加費1,000円、1時間程度)

チケット取扱い:川崎市アートセンター

[窓口] 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く) [WEB] http://kawasaki-ac.jp/th/

[電話] 044-959-2255(9:00～19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

※ジャズスクエアの電話予約はマイタウンチケットセンターでのみお取り扱いしております。044-954-9990(月～金、10:00～18:00)

※学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

★お問合せ:川崎市アートセンター 044-955-0107 http://kawasaki-ac.jp



©PALMABACS OPERA NATIONAL DE PARIS/UPSIDE DISTRIBUTION/ILLUSTRATION 2016

未来を花束にして

SUFFRAGETTE

2015年/イギリス/カラー/1h46

監督：サラ・ガヴロン

出演：キャリー・マリガン、ヘレナ・ボナム＝カーター、ベン・ウィショー、メル・ストリープ

3.4-3.17

Votes for Women!

1912年、ロンドン。過酷な労働に従事しながらも主人公モードは、夫と息子と3人で慎ましく暮らしていた。ある日、彼女は当時ロンドンで先鋭化していた女性参政権運動の抗議現場に町中で出会う。女性参政権運動活動家“サフラジェット”とともに、次第に未来への“希望”を見だしてゆく姿を描いた実話に基づく感動の物語。今まで描かれたことがなかった“サフラジェット”たちの真の姿を女性の製作チームによって映画化。

PRODUCTION NOTES

製作チームからのメッセージ

フェイ・ワード（プロデューサー）

“これは自分の声を持つことを求め、そのために闘った女性の物語。でも社会的な正義や平等、そして誰もが価値ある人間だという考えに興味を持つすべての男女に関わるものでもある。フェミニズムは、そうであってはいらないのに、長い間タブーのように扱われ続け、カッコ悪いものと思われるようになった”

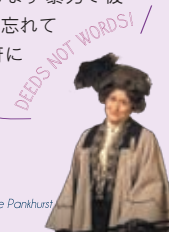
アビ・モーガン（脚本）

“これは私たちの内側にあるフェミニズムやサフラジェットを容認し、それを表へ引き出すことについての作品。(…)現在でも不平等や性差別は存在している。欧米社会でも、あからさまではないけれどなくなっていない。決して歴史的な出来事の映画ではなく、今も続いている普遍的な運動の話なのよ”

THE SUFFRAGETTE?

サフラジェットとは？

原題の「サフラジェット／Suffragette」とは、女性参政権論者（Suffragist）の中でも過激な活動家を意味する。特に20世紀初頭のイギリスで先鋭化した。そのカリスマ的リーダーであるエメリン・パンクハーストは、1903年に「女性社会政治同盟」を設立。劇中、メル・ストリープ演じるエメリンは、“言葉よりも行動を”と呼びかける。しかしながら、彼女たちは初めから過激だったのではない。メディアは、男性たちがそれまでの政治運動のなかで行ってきた活動方法であっても、女性たちがそれに倣うと、大きく反応したからだ。また、政府もまず暴力で彼女たちに対処したという事実を忘れてはならない。彼女たちには、政府に対抗するため、大衆の耳目を集めるため、他に手段はなかったのだ。しかし、彼女たちは、自らの身を削りながらも常に「人を傷つけない」ことを心にとめていた。



【年表】世界の女性参政権

1893年	ニュージーランド
1902年	オーストラリア
1917年	ロシア
1918年	オーストリア、ドイツ、ポーランド
1920年	アメリカ合衆国
1928年	イギリス ※1918年に30歳以上の女性に制限選挙権
1944年	フランス
1945年	日本 ※翌年1946年に行使
2015年	サウジアラビア

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責＝川崎市アートセンター 協力＝ロングライド)



©2016 KIM Ki-duk Film. All Rights Reserved.

The NET 網に囚われた男

2016年/韓国/カラー/1h52

監督・脚本・撮影・製作：キム・ギドク

出演：リュ・スンボム、イ・ウォンゴン、キム・ヨンミン

北朝鮮の漁師ナム・チョルは、漁の途中ボートが故障し意に反して韓国に流されてしまう。警察に拘束され、身に覚えのないスパイ容疑をかけられながら、ようやく北に戻された彼を待ち受けていたのは、より過酷な運命だった。韓国の鬼才キム・ギドクが現代社会の矛盾と闇に切り込んだ社会派ドラマ。

3.4-3.17



©Pastorale Productions-Studio 99

皆さま、ごきげんよう

2015年/フランス・ジョージア/カラー/2h01

監督・脚本：オタル・イオセリアニ 出演：リュファス、ビエル・エテックス、マチュー・アマルリック

舞台はパリ。アパートの管理人にして武器商人の男と骸骨集めが大好きな人類学者の悪友ふたり、彼らを取り巻く個性豊かな住人たちが繰り広げる人間模様を描く。混沌とする社会の不条理を、反骨精神溢れるセンスの良いユーモアで笑い飛ばす名匠オタル・イオセリアニ監督の集大成的傑作！

3.4-3.17



©2015 zero one film / TERZ Film

アイヒマンを追え！ ナチスがもっとも畏れた男

2015年/ドイツ/カラー/1h45

監督：ラース・クラウメ 出演：ブルクハルト・クラウスナー、ロナルト・ツェアフェルト、リット・シュタンゲンベルク

第二次世界大戦後、数多くの重要戦犯が海外へ逃亡する中、ホロコーストの中心的役割を担ったナチス最重要戦犯アドルフ・アイヒマンを拘束する為、捕獲作戦が企てられた。この作戦を実現へと導いたドイツ人検事長フリッツ・パウワーに焦点をあてた極秘作戦の知られざる実話の映画化。

3.11-3.24



©PRai Com - Codice Atlantico - Skira Editore 2016

レオナルド・ダ・ヴィンチ
美と知の迷宮

2015年/イタリア/カラー/1h21

監督：ルカ・ルチーニ、ニコ・マラスピーナ

出演：ピエトロ・マラーニ、マリア・テレサ・フィオリ

“世紀の天才”と称されるレオナルド・ダ・ヴィンチ。彼の偉業、知られざる人物像と謎を紐解くドキュメンタリー。各分野の研究家がそれぞれの目線から解説するほか、《最後の晩餐》を世界初の4K スキャン映像で紹介し、《モナ・リザ》など100点以上の素描を圧巻の映像美で映し出す。

3.11-3.24



©Novotny & Novotny Filmproduktion GmbH

エゴン・シーレ 死と乙女

2015年/オーストリア・ルクセンブルク/カラー/1h49/R15+

監督：ディーター・ベルナー 出演：ノア・サーベトラ、マレシ・リーグナー、ファレリエ・ベヒナー

クリムトと並び、世紀末のウィーン美術史に輝く天才画家エゴン・シーレ。鮮烈な作風で独特の美とエロスを描き、第一次世界大戦と時代の波に飲み込まれながらも28年の生涯を駆け抜けた彼の生涯を描く。美男のプレイボーイとして知られるシーレを演じるのはモデル出身の新人ノア・サーベトラ。

3.18-3.31



©MOVIE - FRANCE 2 CINEMA - MELV PRODUCTIONS

TOMORROW パーマネントライフを探して

2015年/フランス/カラー/2h00

監督：シリル・ディオン、メラニー・ロラン

出演：シリル・ディオン、メラニー・ロラン

2012年、21人の科学者たちが権威ある学術雑誌「ネイチャー」に、私たちが今のライフスタイルを続ければ、人類は滅亡するという論文を発表し世界に衝撃が走った。女優で監督、子供を持つ母でもあるメラニー・ロランが未来のために解決策を求めて世界へと旅に出るドキュメンタリー。

3.25-3.31

ユーリー・ノルシュテイン監督特集上映
「アニメーションの神様、その美しき世界」

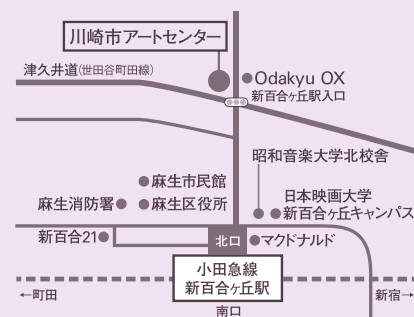
3.25-3.31



宮崎駿監督をはじめ、世界中のアニメーターからリスペクトされる“アニメーションの神様”ユーリー・ノルシュテイン。本特集上映では、ノルシュテイン監督の生誕75年を記念して、その代表的な監督作を世界初となるHD画質のデジタルリマスターにて上映。世界アニメーション史に輝く傑作が甦ります。

上映作品

- 『25日・最初の日』(1968年/9分)
- 『ケルジェネツの戦い』(1971年/10分)
- 『キツネとウサギ』(1973年/12分)
- 『アオサギとツル』(1974年/10分)
- 『霧の中のハリネズミ』(1975年/10分)
- 『話の話』(1979年/29分)



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

- ◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
- ◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日
のお楽しみ

2017

ラゾーナ寄席

第57回

3月21日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…春風亭柳橋・桂米多朗・桂夏丸・瀧川鯉佐久

■入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



春風亭柳橋

能「西行桜」観世恭秀
撮影 前島吉裕

能「忠度」山階彌右衛門
撮影 前島吉裕

能と狂言

第二〇回 川崎市定期能

能

観世 恭秀(観世流)
西行桜
【さいぎょうざくら】

狂言

山本 凜太郎(大蔵流)
舟ふな
【ふなふな】

第二部

15時30分開場
16時00分開演

◆平成29年3月11日(土)
◆会場：川崎能楽堂
◆入場料：各部4,000円
(全席指定)
U25 3,000円
※臨正面、中正面エリアのみ選択可。
25歳以下の方
購入時に生年月日のわかる身分証
明書をお持ちください。

能

山階 彌右衛門(観世流)
忠度
【ただのり】

狂言

山本 泰太郎(大蔵流)
癡痺
【しびり】

第一部

13時30分開場
14時00分開演

チケット好評発売中

◆チケット取扱・お問合せ／川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37
◆受付時間／窓口・電話 9:00～17:00

主催：(公財)川崎市文化財団 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-222-8821/FAX.044-222-8817

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年3月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311